

第1章 調査の目的と方法

1 調査の目的

昨今の青少年非行の特徴として、刑法犯少年の補導人員が増加しているほか、凶悪粗暴な犯罪の増加が目立っている。また、日ごろは問題行動の見受けられない青少年が、突然、対教師暴力や犯罪を行うという突然型非行も目立ってきている。

本研究調査は、このような青少年の意識から引き起こされる暴力に関する問題行動を、青少年を取り巻く様々な側面から調査・分析をすることにより、今後の非行対策及び青少年に関する諸施策の基礎的な資料を得ることを目的として実施したものである。

2 調査の対象者

(1) 一般少年

全国5都県（秋田，東京，兵庫，鳥取，宮崎）の公立中学校・高等学校計20校（各都県各2校）に在籍する中学校1～3年生及び高等学校1～3年生を対象とした。

調査対象者 2,117名 うち有効回答 2,089名 （有効回答率98.7%）

(2) 非行少年

全国53の少年鑑別所に在所している20歳未満の少年を対象とした。

調査対象者 1,425名 うち有効回答 1,403名 （有効回答率98.5%）

3 調査領域

(1) 一般少年

- ① 家庭生活
- ② 学校生活
- ③ 人間関係等
- ④ 共感性・暴力観

(2) 非行少年

- ① 家庭生活

- ② 学校生活
- ③ 人間関係等
- ④ 共感性・暴力観
- ⑤ 犯罪名

4 調査方法

(1) 一般少年

調査機関から調査協力学校に一般少年用調査票を送付し、学校における集団自記式調査とした。記入された内容が調査分析者以外に知られることがないように、記入後封筒に密封してから提出させ、学校から調査機関あて一括送付した。

(2) 非行少年

調査機関から全国の少年鑑別所に非行少年用調査票を送付し、少年鑑別所在所中に個別に記入させ、記入後、少年鑑別所から調査機関あて一括送付した。

5 調査時期

(1) 一般少年

平成11年9月

(2) 非行少年

平成11年9月から11月までの間

6 調査委託機関

(財)矯正協会附属中央研究所

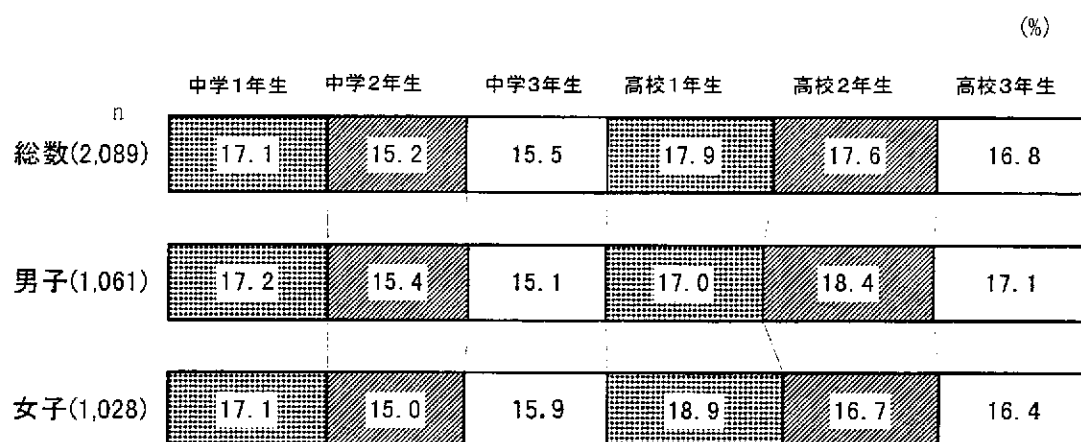
7 企画分析委員

代表	大 川	力	(財)矯正協会附属中央研究所研究第三部長
	安 香	宏	昭和女子大学文学部教授
	大 住	猛 雄	(財)矯正協会附属中央研究所調査部長
	小 柳	浩 子	法務総合研究所主任研究官
	浜 井	郁 子	(財)矯正協会附属中央研究所主任研究員
	藤 田	宗 和	昭和女子大学文学部助教授

8 回答者の属性

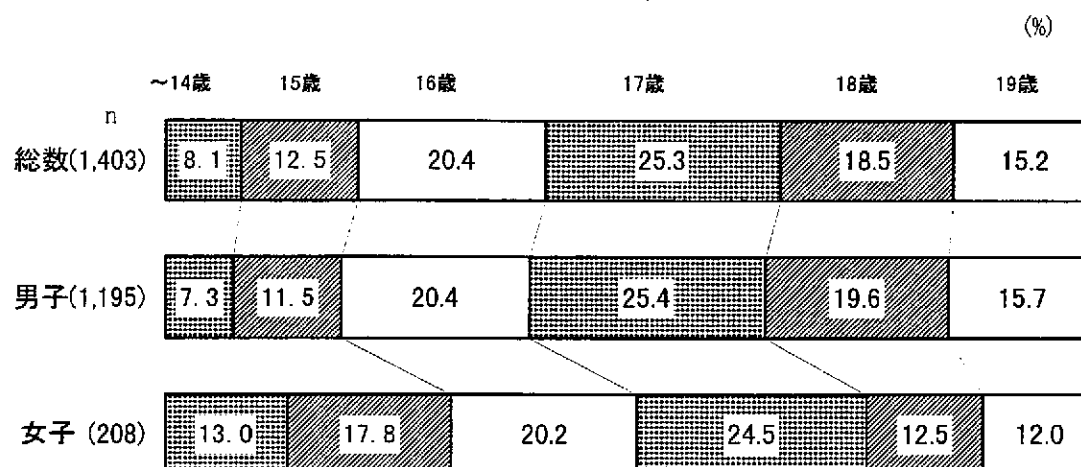
一般少年における有効回答者の学年別・性別の構成は図 I - 1 - 1 のとおりである。

図 I - 1 - 1 一般少年の性別、学年別構成



非行少年における有効回答者の年齢別・性別の構成は図 I - 1 - 2 のとおりである。

図 I - 1 - 2 非行少年の性別、年齢別構成



9 本書を読む際の留意点

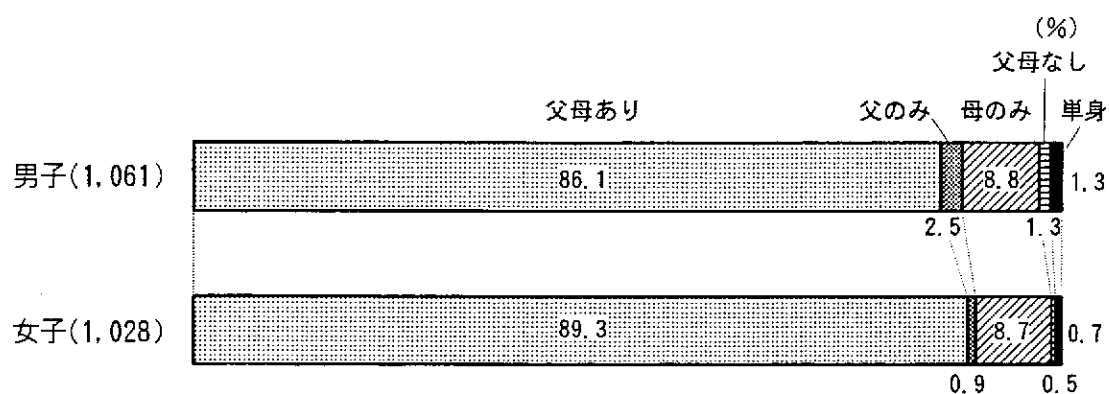
- (1) 報告書の中では、調査対象である一般少年の中学生及び高校生は「男子（女子）中学生」、「男子（女子）高校生」とし、この両者を合わせた場合は「一般少年」又は「一般群」と表記した。
また、少年鑑別所所在少年は「非行少年」又は「非行群」とし、さらに恐喝、暴行、傷害、暴力行為、強盗、殺人での補導歴がある少年を「暴力非行少年」又は「暴力非行群」、それ以外の少年を「その他非行少年」又は「その他非行群」と表記した。
- (2) 第Ⅱ部第4章「共感性」に関する質問（一般少年の問12、非行少年の問13）については、各回答に得点を与え、共感性得点の平均を算出する形式による分析とした。
- (3) 本文、図表、集計表で用いた記号等の意味は、次のとおりである。
N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
－：回答者がいないことを示す。
0.0：回答者はいるが、その比率が表章単位に満たない値である。
M.A.：1回答者が2以上の回答をすることができる質問のこと（Multiple Answerの略）。
- (4) 結果数値（%）は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計に一致しないことがある。

一般少年における有効回答者の同居両親については図Ⅰ－１－３のとおりである。

あなたが現在一緒に住んでいる人は誰ですか。

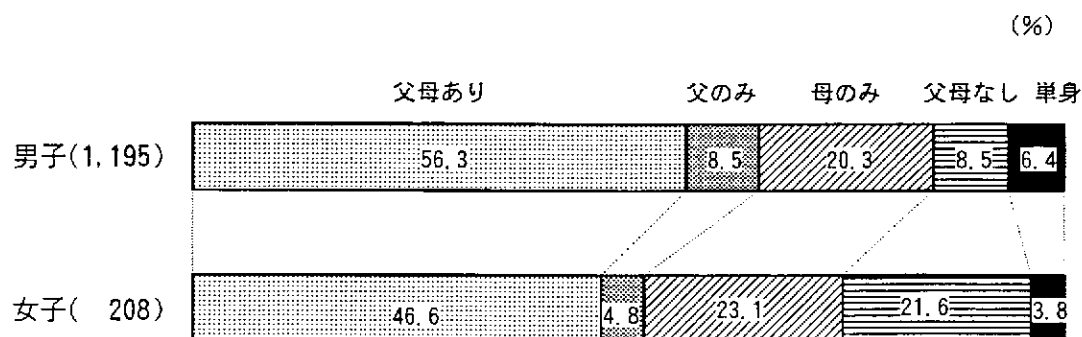
1 父 2 母 10 下宿・寮などで家族と離れて生活している。

図Ⅰ－１－３ 一般少年の同居両親



非行少年における有効回答者の同居両親については図Ⅰ－１－４のとおりである。

図Ⅰ－１－４ 非行少年の同居両親

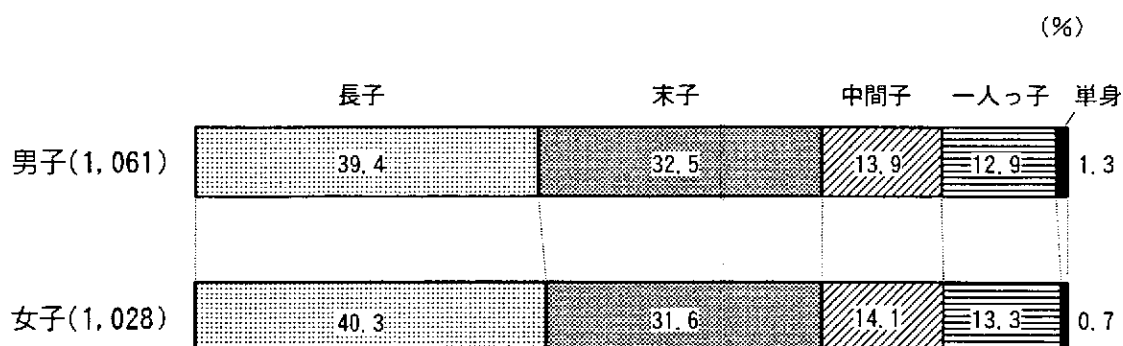


一般少年における有効回答者の同居兄弟については図 I-1-5 のとおりである。

あなたが現在一緒に住んでいる人は誰ですか。

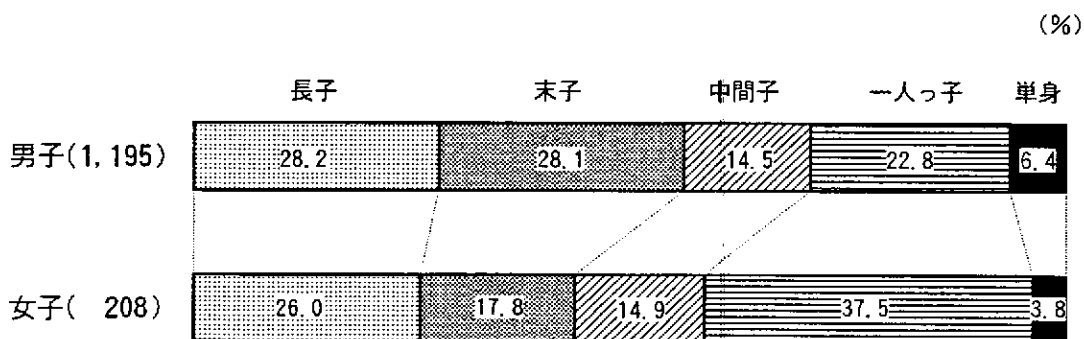
5 兄 6 姉 7 弟 8 妹 10 下宿・寮などで家族と離れて生活している。

図 I-1-5 一般少年の同居兄弟



非行少年における有効回答者の同居兄弟については図 I-1-6 のとおりである。

図 I-1-6 非行少年の同居兄弟



非行少年における暴力非行有無別の構成は表Ⅰ－１－１のとおりである。

あなたが今まで警察で補導されたりしたときの非行の名前は何でしたか。今回の非行を含め当てはまる番号すべてに○を付けてください。

表Ⅰ－１－１ 非 行 名

非 行 名	男 子		女 子	
	人 員	%	人 員	%
暴力非行あり	678	56.7	68	32.7
恐喝	355	29.7	32	15.4
暴行	110	9.2	6	2.9
傷害	396	33.1	48	23.1
暴力行為	82	6.9	7	3.4
強盗	99	8.3	3	1.4
殺人	23	1.9	—	—
暴力非行なし	517	43.3	140	67.3
窃盗	794	66.4	77	37.0
詐欺・横領	50	4.2	6	2.9
放火	23	1.9	2	1.0
強姦	36	3.0	—	—
強制わいせつ	9	0.8	2	1.0
業務上過失致死傷	25	2.1	2	1.0
道路交通法	463	38.7	31	14.9
銃砲刀剣所持等	20	1.7	1	0.5
売春防止法	1	0.1	18	8.7
覚せい剤取締法	41	3.4	57	27.4
毒劇物取締法	131	11.0	34	16.3
虞犯	50	4.2	52	25.0
その他	186	15.6	39	18.8
人 員	1,195		208	